

厚見学園コミュニティ・スクール運営基本方針

1 めざすもの

地域が誇る学校 地域が誇る児童生徒
～郷土を愛し 人間豊かで たくましく生き抜く 児童生徒～

2 厚見学園コミュニティ・スクールが果たす役割

- ・家庭・地域・学校が一体となって、次代を担い、日本を支え、世界に飛躍する児童生徒を地域ぐるみで見守り、支え、育む。
- ・児童生徒の健全育成と一層地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。
- ・保護者や地域住民の願いや意向を学校運営に反映する。
- ・地域住民等が学校の運営に積極的に参加・協力できるようにする。

※「家庭・地域が学校の応援団」になっていただくための戦略構想

3 家庭・地域・学校が担う役割

(1) 家庭：子育ての原点

- ・愛情をもって子どもを育む
- ・どんな時も子どもの居場所となる
- ・社会や学校のルール・決まり・礼儀を教え、規範意識を育てる

(2) 地域：子育ての土壌

- ・地域の児童生徒を見守り育てる
- ・安心安全な地域環境を整える
- ・児童生徒の地域貢献の場となり社会性を育てる

(3) 学校：子育ての中核

- ・確かな学力を育成する
- ・豊かな心を育む
- ・健やかな心と体を育てる

4 コミュニティ・スクールの各組織が担う役割

(1) 学校運営協議会

- ・厚見学園及び厚見小・中学校の運営・経営方針を協議し承認する。
- ・地域住民等の理解や協力、参画等が一層図られるよう働きかける。
- ・地域住民等の意見や要望を把握するとともに、それらを学園・学校運営に反映させる。
- ・学園・学校運営状況の点検と評価を行う。

(2) 学校支援推進委員会

- ・学校運営協議会と連携し、厚見学園コミュニティ・スクール構想を具体化する。
- ・地域の諸会合や諸活動の場で、厚見学園及び厚見小・中学校の諸活動について説明したり、理解・協力を積極的に求めたりする。
- ・具体化した活動内容や活動方法について各専門部会で指導・助言を行う。
- ・児童生徒の自信や誇りとなるよう、児童生徒のよさを地域に積極的に発信する。

(3) 専門部会（3部会）

①学習支援部会

→児童生徒の生きる力の育成や学力の向上を図るためのアイデアを出し合い、地域や関係諸機関・諸団体に依頼したり協力を求めたりする。

【例】

- ・総合学習などをサポートしていただく地域学習先生やボランティアの募集や発掘
- ・各教科の授業をサポートしていただく専門性や指導力のある方の募集や発掘
- ・サタデースクールや長期休業中の学習サポーターの募集や発掘
- ・個別の支援が必要な児童生徒のサポーターの募集や発掘

②安心安全部会

→登下校時の児童生徒の見守り活動や生活環境の点検・整備を行ったり、地域や学校に働きかけたりして、一層の改善を図る。

【例】

- ・登校時の旗当番や登下校時の見守り活動の充実と改善
- ・青パトによる見守り活動の充実と改善
- ・学校の学習環境や通学路等の安全安心の確認や整備及び改善を図るための関係機関等への働きかけ（安全マップの作成を含む）

③地域活動部会

→児童生徒が地域行事に参加・貢献できるように働きかけるとともに、「地域の子は地域で」を合い言葉に、地域住民が主体となって児童生徒の支援が行えるよう働きかける。

【例】

- ・小中学生がサポーターやアシスタントとして地域に貢献できる地域行事や地域活動の工夫や改善
- ・インリーダー活動やサタデーサークルの支援
- ・関係機関・関係諸団体や地域住民が主体となって児童生徒の指導や支援を行うための働きかけ

5 今後、大切にすること

厚見学園コミュニティ・スクール（以下「CS」）が今年度より本格的にスタートします。CSの役割は4で述べた通りです。学校だけで次代の担い手を育てることは不可能です。家庭・地域・学校が一体となって地域ぐるみで育てていかなければならない時代であり、それが子育ての原点です。子どもたちは地域の宝であり日本の宝です。「地域の子は地域で」を合い言葉にCSを積極的に推進し、「地域が誇る学校 地域が誇る児童生徒」の実現を図り、世界に羽ばたく将来ある若者の育成に携わっていきたいと考えます。

これまで関係の方とお話をする中で、今後、大切にすべきことや留意すべきことが明らかになってきました。既にCS化している現状であることを十分にふまえ、以下のことを留意しながら、CSを今後推進していきます。

<留意事項>

- (1) CS関係者の過度な負担とならない協議会・委員会・部会の運営や活動となるよう配慮するとともに、そのためのアイデアを一緒に協議していきます。
- (2) 厚見中校区児童生徒を育てる会や公民館運営委員会、青少年育成市民会議などの既存の諸会議と兼ねたり実施日を同日にしたりするなど工夫をします。
- (3) 新しい活動を加えていくのではなく、これまで実施してきた活動や地域とのかかわりを推進したり見直したりして、一層の充実を図ることを重視します。
- (4) 関係機関や諸団体の理解と協力を得られるよう、学校からの働きかけを一層強化します。